事業シート（令和9年度予算）

事業名	20900　総合計画推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	2	総務費			ポイント				
担当課	総合政策部総合政策課	内線	2434		項	1	総務管理費		分野別	政策分野		着実な計画の推進	市長公約	Ⅲ　まちを整える 市民のための市役所を目指します
					目	9	企画費			施策分野		計画推進		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・総合計画に基づく計画的な行政運営を着実に推進する。 ・近隣自治体と連携して共通する課題に取り組む。 ・年齢、性別、障がいの有無などに関わらず誰もが安心して暮らせる環境を整える。 ・地方創生を推進する。	概要	・市民アンケート、事業評価、実施計画ローリング等により総合計画の進捗管理を行う。 ・政策コーディネーターの設置やたかやま共創ミーティングの開催により、市政全般における政策立案、形成をすすめる。 ・若者や女性活躍に向けた活動支援や事業調整を行う。 ・高山市SDGs未来都市計画に基づきSDGの推進を図る。 ・県及び飛騨3市1村が連携して飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業を実施する。 ・ユニバーサルデザインに配慮された施設の認定や啓発資料の活用等により、誰にもやさしいまちづくりを推進する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じている市民の割合	49.7%		↗
誰にもやさしいまちづくり条例に基づく認定件数（累計）	90件		100件
事業評価の実施	379事業		－

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		15,914	13,928	14,977			
特定財源	国費（　　）						
	県費（ SDGs推進事業費 1/2 ）	1,600	65	200			
	その他（　　）						
一般財源		14,314	13,863	14,777			
新規・拡充	主な事業内容						
	総合計画の進捗管理	494	317	494			
	SDGsの推進	3,187	1,604	2,150			
	政策コーディネーターの設置	3,600	3,600	3,600			
	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会への参画	7,900	7,549	7,900			
	自治基本条例等制定に向けた検討			100			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			16,000
14,787			△ 190
			△ 200
14,787			10
要求額	説明		
494			
1,910			
3,600			
7,900			
100			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・総合計画審議会の開催（1回）、市民アンケートの実施、施策評価・事業評価の実施、実施計画のローリング ・飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業に11,451人が参加・来場 ・誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催（1回）、市内小学6年生を対象に誰にもやさしいまちづくり学習資料を作成・配付 ・総合教育会議の開催（1回）、児童生徒等の重大事態調査委員会の開催（1回） ・飛騨高山SDGsアクションデイズの開催、SDGsパートナー登録事業者の情報発信・マッチング支援の実施 ・政策コーディネーターの活用	
評価等	・第八次総合計画の施策評価を実施し公表した。 ・第九次総合計画のスタートの年度として、各種計画も含めた進捗を図るとともに、自治基本条例（まちづくり条例）の制定に向けた協議を開始した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・第九次総合計画及び各種計画に掲げる施策の着実な推進を図る。 ・引き続き、一般財団法人ひだ財団など、行政以外のセクターとの連携強化を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	20930　大学連携推進事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
担当課	総合政策部　総合政策課	内線	2434		目	9	企画費

総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり
		ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり
	分野別	政策分野	2	こども・教育・交流
		施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術

根拠計画	過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅱ　いとなみを育てる 若者と女性が活躍できるまちをつくります

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・大学との連携の強化を図り、若者（市外学生）のUIJターンや地元定着を促進する。 ・大学の持つ高度かつ専門的な知見を活用し、当市における政策形成能力を向上させる。 ・大学連携による地域産業の活性化やブランド力の強化を図る。	概要	・大学連携センターの設置・運営に対する助成 ・大学連携センターへの調査研究業務の委託 ・連携大学等との検討会議の開催 ・連携大学等が活用できるサテライトキャンパスの設置・運営

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		19,782	18,592	21,870			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		19,782	18,592	21,870			

新規・拡充	主な事業内容						
○	大学連携の推進（大学連携センターに対する助成）	15,700	14,569	17,800			
	大学と連携した調査、サテライトキャンパスの設置	4,012	4,001	4,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	21,900 増減 (d)-(c)
29,090			7,220
29,090			7,220

要求額	説明
26,000	高山短期大学学生支援等
3,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・大学活動を誘致する大学コミッション事業により58大学、大学教授や学生を5,412人受け入れ、リモートによる講義・報告会に57人が参加 ・市内における大学活動を促進するため、大学等によるゼミ合宿に対する支援を行った（53件3,319人泊分を助成） ・関係人口を活用した祭礼継承の研究や地域住民×医療者×多様な主体で取り組むソーシャルイノベーションの共創と新たな価値の創造の研究など、大学の高度で専門的な知見を活用した自治体シンクタンク事業を推進 ・飛騨地域をフィールドに調査研究を行う大学関係者や地元高校生が集い、研究成果等を発表する「第7回～繋がるキャンパス～飛騨高山学会」を開催 来場者約460人、ライブ映像視聴者延べ約1,040人 ・民間事業者と大学等が連携し新製品や新サービス等の研究開発に要する費用を助成 ・飛騨地域に開学する四年制大学であるコー・イノベーション大学と飛騨市とともに連携協定を締結	
評価等	・大学連携センターによる大学活動への支援により学生を、高山へ呼び込むとともに、大学関係者と市民とを繋ぐことができた。 ・大学と連携した調査研究により、地域の魅力向上や課題解決に向けた取組みを進めることができた。 ・飛騨高山学会の開催により、研究成果等が広く共有されるとともに、大学の教員や学生、地元高校生、企業など参加者相互の交流・連携が図られた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・引き続き、大学活動の誘致や大学と連携した調査研究、市の施策形成への活用を進める。 ・飛騨高山大学連携センターと連携しながら、市内における大学活動の積極的な誘致を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・高山短期大学学生支援に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	20960　若者等活動事務所管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	2	総務費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり		
担当課	総合政策部総合政策課、市民活動部協働推進課	内線	2434		項	1	総務管理費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅱ　いとなみを育てる 若者と女性が活躍できるまちをつくります
					目	9	企画費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・次代を担う若者たちが地域でいきいきと暮らし、活動することを通じ、飛騨高山への誇りと愛着を育む。 ・伝統的建造物群保存地区及び周辺の景観に配慮された美しい町並みを維持する。	概要	・村半（若者等活動事務所）の管理運営を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		8,550	5,942	5,650			
特定財源	国費（　若者等活動費　）						
	県費（　　）						
	その他（　夢・まちづくり基金繰入金、飛騨高山ふるさと基金繰入金　）	4,000	4,000	4,000			
一般財源		4,550	1,942	1,650			
新規・拡充	主な事業内容						
○	施設の管理運営	5,250	4,069	5,650			
	若者の主体的な活動に対する助成	2,200	1,051				
	高校生の主体的な活動に対する助成	1,100	822				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			5,300
16,150			10,500
5,500			5,500
			△ 4,000
10,650			9,000

要求額	説明
16,150	主屋柱修繕

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・来所者数　27,241人（1日平均88人）、開所からの延べ136,287人 ・利活用検討会の開催（4回） ・ひだ財団との連携による助成 　若者の主体的な活動に対する助成　6件 　高校生の主体的な活動に対する助成　1件	
評価等	・市内高校生や中学生の自主学習での利用のほか、若者が自発的に活動している各種プロジェクトの打合せなど様々な目的で利用されている。 ・県内外からの視察や教育旅行の受入れなど、市のPRの場所としても活用が図られている。 ・地域の方々には施設の利用をはじめ、施設内の植栽等への助言や、地域の季節行事に参加させていただくなど、良好な関係を築くことができている。 ・ひだ財団との連携により、若者や高校生の活動への助成を行い、活動への伴走支援により若者活動の活性化が図られている。	
次年度以降の考え方（担当課）	・更なる利用促進を図りながら、引き続き適切な管理運営を行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・若者等活動事務所（村半）修繕に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	20980　高山駅西地区まちづくり推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	都市基本計画、教育振興基本計画、地域福祉計画
					款	2	総務費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
担当課	総合政策部　総合政策課	内線	2443		項	1	総務管理費		分野別	政策分野	3	都市基盤・防災・景観	市長公約	
					目	9	企画費			施策分野	(1)	土地利用・都市計画		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・「ふれあい×にぎわい×つながり　～市民の夢や願いをかなえ、笑顔と心をはずませる駅西エリア～」をコンセプトとして高山駅西地区のまちづくりをすすめ、市全体の活力につなげる。	概要	・高山駅西地区における複合・多機能施設等の整備をすすめる。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		11,610	8,384	661,860			
特定財源	国費（　高山駅西地区まちづくり推進事業費　1/3　）			187,000			
	県費（　　）						
	その他（　飛騨高山ふるさと基金繰入金　）	6,000	6,000	17,000			
一般財源		5,610	2,384	457,860			
新規・拡充	主な事業内容						
	高山駅西地区複合・多機能施設整備に係る事業者選定	7,310	5,709	2,160			
	高山駅西地区複合・多機能施設の整備等	4,000	2,507	659,000			
○	整備方針の検討						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	2,634,300 増減 (d)-(c)
86,729			△ 575,131
			△ 187,000
			△ 17,000
86,729			△ 371,131
要求額	説明		
46,129	債務負担行為		
40,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・高山駅西地区複合・多機能施設運営者選定委員会の開催（2回） ・高山駅西地区複合・多機能施設の設計施工事業者の公募（応募　0団体） ・高山駅西地区複合・多機能施設の運営予定者による設計施工事業者の選定に向けた支援	
評価等	・高山駅西地区複合・多機能施設の設計施工事業者の公募について、議会特別委員会からの意見等や事業者サウンディング、運営予定者からの意見等を踏まえて、R7.9月に公募型プロポーザルを実施したものの、結果的に応募者がなく、R8.3月に中止した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・高山駅西地区まちづくり構想、高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画に込められた市民の想いの実現に向け、最適な手法の検討を引き続きすすめる。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・整備方針の検討に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	25100　統計調査事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	
					款	2	総務費			ポイント				
					項	5	統計調査費		分野別	政策分野		着実な計画の推進	市長公約	
担当課	総合政策部　総合政策課	内線	2434		目	1	統計調査費			施策分野		計画推進		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・統計的視点から市の現状を理解する。 ・統計調査結果を研究活動等様々な分野で活用する。 ・政策立案の基礎となる統計調査業務の円滑化を図る。 ・各分野における諸事象を把握し、実態を明らかにすることにより、各種行政施策に必要な基礎資料を得る。	概要	・統計調査に従事する調査員を確保するとともに、調査員の資質向上のための研修を実施する。 ・各種統計における高山市に関する数値を取りまとめ、「高山市のあらまし」として公表する。 ・国・県が実施主体となる各種統計調査を実施する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		350	167	5,970			
特定財源	国費（　）						
	県費（ 統計調査員確保対策事業費 等 ）	237	122	5,857			
	その他（　）						
一般財源		113	45	113			
新規・拡充	主な事業内容						
	事務費	140	72	140			
	経済センサス（毎年）	180	95	5,830			
	就業構造基本調査（R9調査実施（5年に1度））						
	住宅・土地統計調査（R10調査実施（5年に1度））						
	農林業センサス（R6調査実施（5年に1度））	30	0				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	2,800 増減 (d)-(c)
3,006			△ 2,964
2,893			△ 2,964
113			0

要求額	説明
140	
10	
2,080	
776	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・統計調査員研修会の開催（20名） ・「高山市のあらまし」の印刷・発行（40部）、市ホームページでの公表 ・経済センサス、農林業センサスの実施	
評価等	・各種啓発により統計調査員を確保することができた。 ・受託した国（県）の各種統計を実施した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした研修を実施する。 ・「高山市のあらまし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	